

# 動物共生科学の科学的コミュニケーション構築とその発信に関する研究

私たちが取り組んでいます！



福井智紀（代表者）



大木茂

## 【研究チーム】

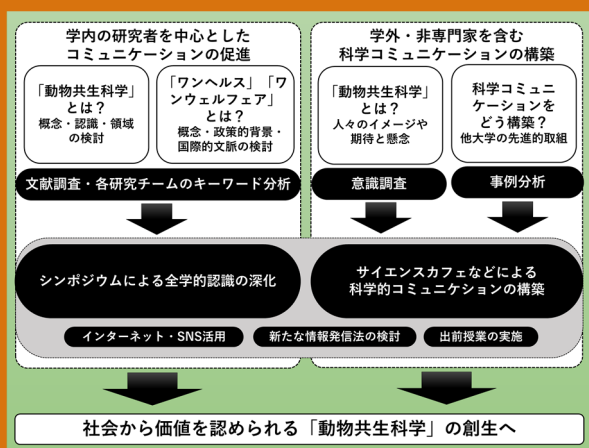
代表者：福井智紀（生命・環境科学部 教職課程研究室 講師）

メンバー：大木茂（獣医学部 動物応用学科 動物資源経済学研究室 教授）

## めざすこと（研究目的）

動物共生科学の概念を整理し、学内コミュニケーションを促進  
 専門家と非専門家との科学的コミュニケーションを促進

## やること（研究方法）



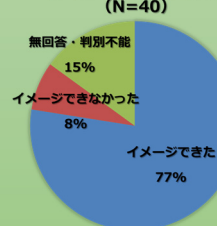
- 「動物共生科学」および「ワンヘルス（One Health）」の概念の分析
- 学内の研究資源との関連の分析
- 動物共生科学に対する意識調査
- 科学コミュニケーション事業の実施

## わかること・できること（成果）

- 「動物共生科学」への理解の深化
- 社会から価値を認められる「動物共生科学」の創生へ

### 研究の一環として2017年8月にサイエンスカフェを企画

サイエンスカフェによって「動物共生科学」について具体的にイメージできたか (N=40)



- どのようにできたか  
 ヒトと動物が一緒にいるだけで、お互いに影響され、進化していくこと  
 発想を広げられた  
 今後もよりよい関係が期待できると思った
- なぜできなかったか  
 難しい言葉がたくさんあった (高1・女)  
 途中参加 (保護者・女)  
 無回答 (小4・男)

➡ 科学的コミュニケーションの成果の検証と改善へ

## こんなふうに研究しています！



オープンキャンパスにあわせてサイエンスカフェを企画しました (匿名性に配慮して、ぼかし処理をしています)

## キーワード解説

**科学的コミュニケーション**：科学コミュニケーション、サイエンスコミュニケーションとも呼ばれる。専門家からの情報発信だけではなく、非専門家との情報や意見の双方向の交換を重視する活動や考え方のこと。サイエンスカフェは、その代表例。広義には専門家と非専門家とのすべての交流を指し、この場合には、学校での理科教育やテレビの科学番組など幅広い活動を含む